

# 令和2年度事業報告書



「やさしさ」を抱きしめよう

社会福祉法人西予市社会福祉協議会

## 目 次

・ 令和 2 年度 西予市社会福祉協議会 事業報告 .....	1
・ 令和 2 年度 事業報告項目	
本所（含む野村業務） .....	21
明浜支所 .....	28
宇和支所 .....	31
城川支所 .....	36
三瓶支所 .....	40
・ 令和 2 年度 西予市地域包括支援センター 事業報告 .....	43

# 令和2年度 西予市社会福祉協議会 事業報告

## I 総括

人口減少社会を迎え、地域社会が脆弱化し、孤立や貧困の問題が深刻化し、さらに自然災害や感染症の脅威など様々な課題をかかえながらも、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために、国は「身近な圏域」において、地域住民が互いに支え合いながら地域を共につくる「地域共生社会」の実現を目指して、「我が事・丸ごと」の地域福祉推進の理念を掲げています。

このような中、西予市社会福祉協議会では、地域共生社会の実現に向けて、地域福祉をさらに推進し、新たな課題への対応を図っていくため、西予市が策定した「第3次西予市地域福祉計画」に沿った「第1期西予市地域福祉活動計画」を策定し、本会と地域住民が一体となって、主体的に個人や地域における福祉ニーズの早期発見、課題解決に向けた取り組みを進めているところです。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染が拡大し、4月には全国に「緊急事態宣言」が発令され、本会においても感染症対策に迅速に対応するなど、危機管理体制の強化に努め、また、感染拡大防止の観点からも、予定していた事業の一部を中止・縮小せざるを得ない状況となったこともあり、これからの事業全体の取り組みについて、刻々と変化する状況を踏まえた対応が求められた年となりました。

そのような中、本会においては、大規模地震等の災害時及び感染症に対応した「事業継続計画（BCP）」を策定したほか、市内の社会福祉法人及び西予市福祉事務所等との間に、大規模災害や感染症等が発生し、法人自らが利用者に対する支援が困難な状況になった場合に応援を行うことを目的とした「災害時相互応援協定」を締結し、1月にはその協定に基づき施設への応援として7名の職員の派遣を行いました。

また、豪雨災害により、被災された方々を支援する目的で市から受託している「地域ささえあいセンター事業」については、引き続き、個別訪問による相談や情報提供及び交流の場所づくり等を行い、被災された方の復興状況に合わせた伴走型支援を行ってまいりました。

一方、介護サービス事業については、厳しい経営状況のなか、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底を図りながら、利用者個々のニーズに応じた質の高い介護サービスの提供に努めました。

また、法人の財政健全化を図るため、令和2年度を起点とした5年間の「経営改善計画」を策定いたしましたので、今後は、この計画を基に安定した経営基盤の整備に努めてまいります。

## II 重点項目

- i 市社協運営体制の整備と基盤強化
- ii 地域福祉推進力の強化
- iii 福祉利用者支援の強化
- iv 福祉人材の強化
- V 地域包括支援の強化

### Ⅲ 事業の実施状況

#### 【1】法人運営の基盤となる市社協運営体制の整備と基盤強化

##### 1 市社協運営体制の整備と基盤強化

###### (1) 理事会

###### 《第1回》

期 日 令和2年4月1日(火)  
場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室  
出席人数 理事11人中8人出席 監事2人中2人出席  
案 件

###### ○ 報告

報告番号	件 名
報告第1号	理事の交代について

###### ○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第1号	常務理事の選定について
議案第2号	嘱託職員就業規則の一部を改正する規則制定について

###### 《第2回》

期 日 令和2年6月10日(水)  
場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室  
出席人数 理事11人中10人出席 監事2人中2人出席  
案 件

###### ○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第3号	令和元年度事業報告について
議案第4号	令和元年度収支決算について
議案第5号	令和2年度第1次資金収支補正予算について
議案第6号	評議員候補者の推薦について
議案第7号	評議員選任・解任委員会招集について
議案第8号	定時評議員会の開催について

###### 《第3回》

###### □ 理事会の決議の省略

理事会の決議があったものとみなされた日

令和2年7月15日(水)

決議事項を提案した者の氏名

会 長 河野 敏雅

理事からの同意 11人

監事からの確認 2人

案 件

###### ○ 議案審議

議案番号	件名
議案第 9 号	理事の辞任について
議案第 10 号	理事候補者の選定について
議案第 11 号	第 2 回評議員会の開催について（決議の省略）

《第 4 回》

□ 理事会の決議の省略

理事会の決議があったものとみなされた日

令和 2 年 7 月 27 日（月）

決議事項を提案した者の氏名

会 長 河野 敏雅

理事からの同意 11 人

監事からの確認 2 人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件名
議案第 12 号	理事の辞任について
議案第 13 号	理事候補者の選定について
議案第 14 号	第 3 回評議員会の開催について（決議の省略）
議案第 15 号	非常勤職員就業規則の一部を改正する規則制定について

《第 5 回》

期 日 令和 2 年 10 月 27 日（火）

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 理事 11 人中 10 人出席 監事 2 人中 2 人出席

案 件

○ 報告

報告番号	件名
報告第 2 号	理事の交代について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案第 16 号	障がい者総合支援法に基づく運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 17 号	令和 2 年度第 2 次資金収支補正予算について
議案第 18 号	第 1 期西予市地域福祉活動計画について
議案第 19 号	令和 2 年度第 4 回評議員会の開催について

《第 6 回》

期 日 令和 3 年 3 月 19 日（金）

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 理事 11 人中 11 人出席 監事 2 人中 2 人出席

## 案 件

### ○ 報告

報告番号	件 名
報告第 3 号	専決処分第 1 号について（職員給与規則の一部改正）
報告第 4 号	専決処分第 2 号について（嘱託職員就業規則の一部改正）
報告第 5 号	専決処分第 3 号について（臨時職員就業規則の一部改正）
報告第 6 号	経営改善計画について

### ○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 20 号	職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案第 21 号	嘱託職員就業規則の一部を改正する規則制定について
議案第 22 号	臨時職員就業規則の一部を改正する規則制定について
議案第 23 号	非常勤職員就業規則の一部を改正する規則制定について
議案第 24 号	退職手当支給規程の一部を改正する規程制定について
議案第 25 号	介護職員等の処遇改善加算に関する規程の一部を改正する規程制定について
議案第 26 号	介護職員等特定処遇改善加算金の支給に関する規程の制定について
議案第 27 号	指定介護予防支援事業所西予市地域包括支援センター運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 28 号	指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 29 号	指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 30 号	西予市介護予防・日常生活支援総合事業における第 1 号訪問事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 31 号	障がい者総合支援法に基づく運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 32 号	指定訪問入浴介護事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 33 号	西予市介護予防・日常生活支援総合事業における第 1 号通所（通所型サービス A）事業所運営規程の一部を改正する規程制定について
議案第 34 号	令和 2 年度第 3 次資金収支補正予算について
議案第 35 号	令和 3 年度事業計画について
議案第 36 号	令和 3 年度資金収支予算について
議案第 37 号	役員等賠償責任保険契約について
議案第 38 号	第 5 回 評議員会の開催について

## (2) 評議員会

《第 1 回：定時評議員会》

期 日 令和 2 年 6 月 25 日（木）

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 評議員 21 人中 18 人出席 監事 2 人中 2 人出席  
 出席理事 会長、副会長、常務理事  
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 1 号	令和元年度事業報告について
議案第 2 号	令和元年度収支決算について
議案第 3 号	令和 2 年度第 1 次資金収支補正予算について

《第 2 回》

□ 評議員会の決議の省略

評議員会の決議があったものとみなされた日

令和 2 年 8 月 7 日 (金)

決議事項を提案した者の氏名

会 長 河野 敏雅

評議員からの同意 21 人

案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第 4 号	理事の解任及び選任について

《第 3 回》

□ 評議員会の決議の省略

評議員会の決議があったものとみなされた日

令和 2 年 8 月 14 日 (金)

決議事項を提案した者の氏名

会 長 河野 敏雅

評議員からの同意 21 人

案 件

○ 議案審議

報告番号	件 名
議案第 5 号	理事の解任及び選任について

《第 4 回》

期 日 令和 2 年 11 月 10 日 (火)

場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室

出席人数 評議員 21 人中 18 人出席

出席理事 会長、副会長、常務理事

案 件

○ 報告

報告番号	件 名
報告第 2 号	評議員の交代について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案第 6 号	令和 2 年度第 2 次資金収支補正予算について
議案第 7 号	第 1 期西予市地域福祉活動計画について

《第 5.回》

期 日 令和 3 年 3 月 29 日 (月)  
 場 所 西予市社会福祉協議会・本所 会議室  
 出席人数 評議員 21 人中 16 人出席  
 出席理事 会長、副会長、常務理事  
 案 件

○ 報告

報告番号	件名
報告第 2 号	経営改善計画について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案第 8 号	令和 2 年度第 3 次資金収支補正予算について
議案第 9 号	令和 3 年度事業計画について
議案第 10 号	令和 3 年度資金収支予算について

(3) 監査会

期 日 令和 2 年 5 月 25 日 (月)  
 場 所 西予市社会福祉協議会・本所  
 出席監事 奥野柳之介、井上尚喜  
 監査事項 会計監査

- ① 会計処理・契約状況
- ② 予算の編成状況
- ③ 寄付金の取扱い
- ④ 収支決算

業務監査

- ① 定款
- ② 評議員及び評議員会の開催状況
- ③ 理事・監事及び理事会の開催状況
- ④ 規則・規程の整備状況
- ⑤ 人事・労務管理
- ⑥ 事業報告・評価

(4) 監事による現地調査

① 宇和支所

期 日 令和 2 年 12 月 9 日 (水)  
 実施場所 西予市社会福祉協議会 宇和支所



出席監事 奥野柳之介、井上尚喜  
 調査事項 宇和支所の体制及び事業の進捗状況  
 地域包括支援センター支所の体制及び事業の進捗状況

② 明浜・三瓶支所

期 日 令和2年12月11日（金）  
 実施場所 西予市社会福祉協議会 明浜・三瓶支所  
 出席監事 奥野柳之介、井上尚喜  
 調査事項 明浜・三瓶支所の体制及び事業の進捗状況

(5) 評議員選任・解任委員会

《第1回》

期 日 令和2年6月29日（月）  
 実施場所 西予市社会福祉協議会・本所  
 出席人数 評議員選任・解任委員5人中5人出席  
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案第1号	評議員の補欠選任について

(6) 役職員研修会の実施

愛媛県社会福祉協議会に講師を依頼し、行政が策定する成年後見制度利用促進基本計画の概要と利用促進の中核となる機関の役割等について学び、今後の本会の活動に役立てた。

期 日 令和2年10月27日（火）  
 実施場所 西予市社会福祉協議会・本所  
 参加者・本会の役員12人（理事・監事）  
 ・事務局長、地域福祉課長、センター長、支所長、総務係長  
 センター次長（2人）、支所長補佐  
 内 容 テーマ「成年後見制度利用促進基本計画等の概要と利用促進の中核となる機関の役割等について」  
 講 師：愛媛県社協 地域福祉課

(7) 経営会議

法人の経営状況の把握及び経営方針等を協議するため、年間6回幹部職員による経営会議を開催した。

【構成（9人）】

会長、常務理事、事務局長、地域福祉課長、センター長、支所長、  
 センター次長（2人）、宇和支所長補佐

(8) 業務執行会議

法人運営と事業推進を効果的に進めるため、年間11回管理職等による

業務執行会議を開催し協議を行った。

【構成（15人）】

常務理事、事務局長、地域福祉課長、センター長、支所長、総務係長、センター次長（2人）、支所長補佐、地域福祉係長、居宅管理者（2人）  
総括サービス提供責任者、訪問介護管理者（2人）

(9) 関係機関・団体との連携強化

① 民生児童委員協議会及び関係機関・団体等との連携強化

民生児童委員協議会の定例会等に参加するとともに、老人クラブをはじめ、各福祉団体等の事業に協力して連携を強化した。

特に、地域福祉推進の担い手としての役割を持つ民生児童委員協議会には、給食サービス、ふれあい・いきいきサロン、安心カード見守り支援事業等の地域福祉事業についての協力を受け、協働で推進を行った。

② 社会福祉法人連絡会議（法人小委員会）の開催

各法人等において、火災又は震災及び風水害、感染症等の災害が発生した場合の事業継続を目的とした、「西予市内社会福祉法人等災害時相互応援協定」策定のための法人連絡会議を開催した。

【参加法人等】

- ・ 西予総合福祉会
- ・ 西予市野城総合福祉協会
- ・ ひまわり育成会
- ・ 三瓶福祉会
- ・ 西予市社会福祉協議会
- \* 西予市福祉事務所  
つくし苑

《第1回》

期 日 令和2年4月24日（金）  
場 所 宇和教育保健センター「大ホール」  
協議事項 (1) 市内で感染者確認後の各法人等の取組状況について  
(2) 行政からの説明（コロナ対応）・質疑  
(3) 市内で感染症が拡大した場合の法人を超えた協力体制について

《第2回》

期 日 令和2年5月8日（金）  
場 所 宇和教育保健センター「大ホール」  
協議事項 (1) 災害時の法人連携について  
・ 災害時相互応援協定書（案）の検討  
・ 貸出可能な資機材リスト作成の推進

《第3回》

期 日 令和2年6月1日（月）

場 所 宇和教育保健センター「大ホール」

- 協議事項 (1) 災害時の法人連携について
- ・災害時相互応援協定書（案）の最終検討
  - ・貸出可能資機材等一覧
- (2) 調印式の日程について  
令和2年6月10日（水）14:00～

※「災害時相互応援協定書」に基づき、令和3年1月20日から2月2日までの間に延べ7人の職員を施設に派遣した。

#### (10) 会員制会費の推進

社会福祉協議会の経営基盤となる会員制会費を推進し、広く市民のご協力をいただいた。

- ① 募集期間 令和2年7月～8月
- ② 会員 一般会員：500円以上  
特別会員：2,000円以上

#### ③ 実績

地 区	一般会員	特別会員	金 額（円）
本所（野村）	2,329	0	1,164,500
明 浜	1,126	0	571,500
宇 和	4,583	64	2,381,200
城 川	1,103	0	551,500
三 瓶	2,665	10	1,358,500
合 計	11,806	74	6,027,200

#### (11) 規則及び諸規程の整備

主には、人事院勧告等に基づく期末手当の改正及び、働き方改革関連法に則した就業規則等（嘱託・臨時・非常勤職員就業規則）の見直し等を行った。

#### (12) 事業継続計画（BCP）の策定

大規模災害や感染症などの緊急事態に遭遇した場合において、損害を最小限に抑え、中核となる事業の継続及び早期の復旧を図るために平時から取り決めておくべき事業継続計画の策定を行った。

- ・「大規模地震災害編」
- ・「新型コロナウイルス対応編」

#### (13) 経営改善計画の策定

現在、主に介護保険事業の収支悪化等により、不安定な財務状況が顕著化しており、今後本会が将来に向けて自立的な法人として経営を行っていくことを目的とした、令和2年度から令和6年度までの「経営改善計画」を策定した。

(14) 職員研修委員会の開催（委員：6人）

◇ 研修委員会の開催

日 時：令和2年4月10日（金）

場 所：本所「健康相談室」

協議事項：令和2年度研修等の企画及び開催時期について

【研修内容】「ハラスメントを生まない 職場づくり」

① 本所

日 時：令和2年7月11日（土）10:30～12:00

場 所：本所「健康相談室」

② 宇和支所

日 時：令和2年7月18日（土）10:30～12:00

場 所：宇和教育保健センター 2階「研修室」

○ 「ハラスメント相談員対象研修」

日 時：令和2年8月3日（月）10:30～12:00

場 所：本所「健康相談室」

2 広報活動の充実強化

(1) 社協だより「おあしす」を発行し、広く市民に社会福祉協議会活動の周知を図った。（発行回数5回）

(2) 本所（野村）だより及び支所だよりを発行し、地域に根付いた広報活動をおこなった。

(3) 社協のホームページを活用し、現況報告書・計算関係書類等の公表及び、社協・地域包括支援センターの活動、共同募金事業等の情報について常に情報を発信した。

また、「フェイスブック」を活用し、リアルタイムでの情報発信に努めた。

3 西予市まごころ銀行の運営と寄付金活用事業の推進

(1) まごころ銀行の有効活用事業の実施

ふれあい・いきいきサロン事業、給食サービス事業等の事業費として有効活用に努めるとともに、訪問介護用車両（1台）の整備に活用した。

(2) まごころ銀行の預託実績

社会福祉協議会活動の貴重な財源として、本所及び各支所にまごころ銀行を設置し、市民の皆様からの善意をいただいた。

（単位：円）

地 区	本所・野村	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	合 計
預託額	5,580,268	123,025	1,590,772	1,060,262	628,812	8,983,139

(3) まごころ銀行運営委員会

行政、議会、地域福祉、自治会、地区選出等関係者 9 人の委員による「まごころ銀行運営委員会」を開催し、まごころ銀行の事業内容及び予算・決算、その他について意見を求めた。

《第 1 回》

期 日 令和 2 年 5 月 29 日 (金)  
 場 所 西予市社会福祉協議会・宇和支所 2 階会議室  
 出席人数 委員 9 人中 8 人出席  
 審 議

- (1) 令和元年度「まごころ銀行」収支決算について
- (2) その他

《第 2 回》

期 日 令和 3 年 3 月 5 日 (金)  
 場 所 西予市社会福祉協議会・宇和支所 2 階会議室  
 出席人数 委員 9 人中 8 人出席  
 報 告

- (1) 令和 2 年 4 月～令和 3 年 1 月「まごころ銀行」預託金の状況について

審 議

- (1) 令和 2 年度「まごころ銀行」活用に係る補正について
- (2) 令和 3 年度「愛媛県南予地区里親会」に対する活動助成金の審査について
- (3) 令和 3 年度「まごころ銀行」事業・予算について

4 各種募金等運動への協力・推進

(1) 日本赤十字社社員増強運動に伴う社資募集の協力

- ① 募集期間 令和 2 年 5 月～6 月
- ② 実績 (円) 前年比：102.2%

地 区	本所(野村)	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	合 計
金 額	1,207,504	561,920	2,066,731	552,500	1,198,500	5,587,155

(2) 共同募金運動

- ① 募集期間 令和 2 年 10 月～12 月
- ② 実績 (円) 前年比：103.2%

地 区	本 所 (野村)	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	小 計	県本会受 付按分額	合 計
金 額	2,134,398	888,484	3,969,639	887,223	1,447,892	9,327,636	390,171	9,717,807

※「県本会受付按分額」は愛媛県共同募金会受付分を人口・世帯の指標を元に 20 の市町に按分した額

### (3) 歳末たすけあい運動

① 募集期間 令和2年11月～12月

② 実績 (円) 前年比：104.3%

地区	本所(野村)	明 浜	宇 和	城 川	三 瓶	合 計
金額	714,600	90,944	1,377,120	320,100	887,753	3,390,517

## 【2】住民参加の地域福祉推進力の強化

### 1 ふれあい・いきいきサロンの推進

ひとり暮らしの高齢者等と地域住民（ボランティア等）が、自宅から歩いていける場所（集会所等）に気軽に集い、ふれあいを通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げたり、地域の健康づくり（介護予防）の拠点として機能する活動を推進した。

(1) サロン研修交流会の開催

野村地区：参加者	72人
明浜地区：参加者	15人
宇和地区：コロナウイルス感染防止のため中止	
城川地区：コロナウイルス感染防止のため中止	
三瓶地区：コロナウイルス感染防止のため中止	

(2) 各サロンへの助成

野村：54サロン	1,080,000円
明浜：7サロン	140,000円
宇和：38サロン	770,000円
城川：11サロン	220,000円
三瓶：14サロン	300,000円

### 2 地域福祉活動計画策定への取組み

(1) 策定委員会の開催：1回（令和2年10月23日）

（協議内容） ※ 下記の第1層協議体の開催と兼ねる

- ・第1期西予市地域福祉活動計画（案）について
- ・その他

(2) 住民座談会への取組み ※ 下記の第2層協議体の開催と兼ねる

#### ◇ 2回開催

野村・宇和地区で各1回の住民座談会を設け、各まちづくり組織、自治会、民生児童委員、地区社協（宇和地区）、公民館等と連携して開催した。

(3) 地域福祉活動計画の周知

第1期西予市地域福祉活動計画の内容について周知を図るため、各まちづくり組織、地区社協（宇和地区）、民生児童委員、公民館、福祉施設、市の関係各課等に冊子の送付を行った。また、地域住民に広く周知を図るため、概要版の全戸配布を行うとともに、ホームページに掲載を行った。

### 3 生活支援体制整備事業（受託事業）の推進

#### (1) 生活支援コーディネーターの配置

第1層コーディネーターの配置 1人（市全域）

第2層コーディネーターの配置 4人（旧町域）

※1人は市全域コーディネーターと兼務

#### (2) 「支え合い推進会議」（協議体）の設置

- ・ 第1層協議体の設置（市全域）
- ・ 第1層協議体開催：令和2年10月23日（金）
- ・ 第2層協議体の設置（旧町単位）
- ・ 第2層協議体開催：2回開催

#### (3) 地域支援の担い手の養成及び住民主体による活動の支援

- ・ ポイント制ボランティア 登録者 112人
- ・ プレミアムポイントボランティア 登録者 17人
- ・ サポーター・ステップアップ研修会 5回（延べ82人参加）  
※1回中止（コロナ対策）
- ・ 手作りマスク（コロナ禍でのボランティアの推進）：13件 646枚
- ・ 集いの場への活性化支援 訪問件数：57件

#### (4) 支え合いの地域づくり研修会（1回）

日 程：令和3年1月15日（金）

参加者：専門職（主任ケアマネジャー等） 22人

#### (5) 生活支援コーディネーター研修会

日 程：第1回 令和2年8月18日（火）

第2回 令和2年9月28日（月）

参加者：第1層・第2層コーディネーター、地域包括支援センター職員

#### (6) 社協だより「おあしす」、本所（野村）だより及び支所だよりでの集いの場の紹介 8回

#### (7) 関係機関・団体との連携 9回

### 4 地域ささえあいセンター事業（受託事業）の推進

平成30年7月の豪雨災害で被災された市民が、安心した日常生活を取り戻し生活再建ができるよう、見守りや生活支援、地域交流の促進等の総合的な支援を行うことを目的として平成30年10月より事業を開始した。

#### (1) 西予市地域ささえあいセンターの設置

- ・ 本所（野村・城川）
- ・ 宇和サテライト（宇和・明浜・三瓶）

(2) 各種会議の開催

① 運営会議の開催 10回

回数	日程	場所	備考
1	4月6日	野村本所	月次報告、困難事例、コロナ関連情報共有
2	5月11日	野村本所	月次報告、困難事例、コロナ関連情報共有
3	6月8日	野村本所	月次報告、困難事例、コロナ関連情報共有
4	7月13日	野村本所	月次報告、困難事例
5	8月12日	野村本所	月次報告、困難事例
6	9月7日	宇和支所	月次報告、困難事例
7	10月5日	野村本所	月次報告、困難事例、訪問対象世帯見直し等
8	11月16日	野村本所	月次報告、困難事例、訪問対象世帯見直し等
	12月7日	中止	本所は12月14日、宇和サテライトは12月25日にミーティングで情報共有
	1月7日	野村本所	月次報告、困難事例等課内会にて情報共有
9	2月8日	野村本所	月次報告、困難事例、市との協議内容について等
10	3月11日	野村本所	月次報告、困難事例、市との協議内容について等

※毎月実施予定であったが、12月7日は中止、1月7日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域福祉課内会にて情報共有。

② 連携会議の開催 12回（行政、社協、県社協等：毎月開催）

回数	日程	場所	備考
1	4月20日	WEB	出席者12名 月次報告等
2	5月18日	西予市役所	出席者13名 月次報告等
3	6月22日	西予市役所	出席者14名 月次報告等
4	7月20日	西予市役所	出席者12名 月次報告等
5	8月17日	西予市役所	出席者13名 月次報告等
6	9月28日	西予市役所	出席者10名 月次報告等
7	10月26日	西予市役所	出席者11名 月次報告等
8	11月25日	西予市役所	出席者11名 月次報告、訪問対象世帯見直し等
9	12月14日	西予市役所	出席者14名 月次報告、訪問対象世帯見直し等
10	1月18日	西予市役所	出席者10名 月次報告、訪問対象世帯見直し等
11	2月17日	西予市役所	出席者13名 月次報告、訪問対象世帯見直し等
12	3月15日	西予市役所	出席者11名 月次報告、訪問対象世帯見直し等

※4月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、WEBにて開催。

③ ケース会議の開催 12回（困難事例等に係る関係者：毎月開催）

回数	日程	場所	備考
1	4月10日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員
2	5月8日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員
3	6月10日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員
4	7月8日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員



5	8月7日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員
6	9月14日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員
7	10月13日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員
8	11月16日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員
9	12月10日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員
10	1月14日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員
11	2月16日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員
12	3月9日	野村本所	社協、保健師、生活相談員、包括職員

(3) 平成30年7月豪雨災害に伴う弁護士相談会：中止

開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の防止、及び、災害ADRが一時中止となったこともあり、相談会の開催も中止とした。

(4) 愛媛県地域支え合いセンター会議・研修会の参加

① 関係団体連絡会議 3回

回数	日程	会場	出席者
1	7月28日	西予市図書交流館まなびあん	センター長、副センター長、コーディネーター
2	11月17日	宇和島市総合福祉センター	センター長、副センター長、コーディネーター
3	2月24日	大洲市総合福祉センター	センター長、副センター長、コーディネーター

② 担い手養成研修 5回（参加対象：4センター、20市町行政・社協等）

回数	日程	会場	出席者	内容
1	7月21日	西予市図書交流館まなびあん	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他県の被災者支援状況、生活支援相談活動の目的</li> <li>・講義「高齢者に関する理解」 株式会社どんぐり 森川隆氏</li> <li>・講義、演習「SPトランプ人間関係力向上研修」 ブリッジコンサルティング株式会社 一橋克也氏</li> </ul>
2	9月1日	西予市図書交流館まなびあん	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「災害復興住宅融資について」 住宅金融支援機構 大野雄一氏</li> <li>・講義演習「これからの支援に向けた記録のとり方」 Wellbe Design 篠原辰二氏</li> <li>・講義「複雑化・多様化する現在社会の問題」</li> <li>・講義演習「3年目の支援について考える」 FEELDo 栗原英文氏</li> </ul>
3	11月17日	宇和島市総合福祉	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「行政・社協・関係機関の連携による今後の支援の進め方」</li> </ul>

		センター		長岡市社協 本間和也 氏 ・講義「支援者同士のネットワークの構築に向けて」 FEELDo 栗原英文 氏
4	12月16日	西予市図書館まなびあん	3名	・講義「地域支え合いセンター閉所後を見据えた被災者支援の計画づくり」 東松島市社協 千葉貴弘氏 本田栄子氏 ・講義「東松島市あおい地区会活動報告」 あおい地区会 小野竹一 氏
5	2月24日	大洲市総合福祉センター	6名	・発表「令和3年度被災者・地支援活動計画」 ・コメント「各市の令和3年度計画について」 長岡市社協 本間和也 氏 東松島市社協 千葉貴弘 氏 ・講義「地域支え合いセンター活動から社協活動へ」 FEELDo 栗原英文 氏

### ③ えひめ豪雨災害支援情報共有会議 4回

回数	日程	会場	出席者
第29回	6月23日	西予市図書館まなびあん	センター長
第30回	9月15日	大洲市総合福祉センター	センター長
第31回	10月20日	大洲市総合福祉センター	センター長
第32回	12月21日	西予市図書館まなびあん	センター長

被災状況、支援状況、県内外のNPO等の活動状況等の情報共有を図りながら、その情報や出席者の見識技能及び出席者が所属する団体が持つ機能などにより問題への対応策を検討し、行政関係・社協関係をはじめ、NPOなどの支援団体など幅広い参加者が顔の見える関係を築きながら会議を開催。

発災後、通算で32回開催。4月、5月については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、7月と11月、2月については、地域支え合いセンター関係団体共有会議にて情報共有を図った。

(5) 社協広報誌「おあしす」にて情報を発信：2回（5月、7月）

(6) その他

#### ① のむら復興まちづくりデザインワークショップへの参加 4回

回数	日程	会場	出席者
第9回	7月13日	乙亥会館アリーナ	コーディネーター・野村地区担当
第10回	10月21日	野村公民館 3F	コーディネーター・野村地区担当
第11回	12月7日	野村公民館 3F	野村地区担当
第12回	3月4日	野村公民館 3F	コーディネーター・野村地区担当

※昨年から通算で12回開催

② 松山市みなし仮設利用者支援 2回

日 程	場 所	内 容	対 応
10月16日	松山市コミュニティセンター	生活状況、今後の再建方向の確認	センター長 県ささえあいセンター
11月4日	松山市役所	松山市社協への事例引継ぎ	センター長 県ささえあいセンター

③ 関係機関とのWEB会議等

日 程	内 容	出席者
9月2日	愛媛県地域支え合いセンターアドバイザー WEB面談本所	コーディネーター、生活相談員4名
9月3日	愛媛県地域支え合いセンターアドバイザー WEB面談宇和サテライト	副センター長、生活相談員2名
10月29日	愛媛県地域支え合いセンターアドバイザー WEB面談	生活相談員6名
10月29日	住宅金融支援機構との打合せ	コーディネーター
10月30日	愛媛県地域支え合いセンターアドバイザー WEB面談	コーディネーター
2月1日	愛媛県地域支え合いセンターアドバイザー WEB面談・指導	センター長、副センター長

④ 外部支援の調整・活用

回数	引越し日	対 応	内 容
1	5月27日	宇和サテライト	みなし仮設から市営住宅へ
2	12月16日	宇和サテライト	建設型仮設から住宅へ
3	12月16日	宇和サテライト	建設型仮設から住宅へ

【3】良質な福祉サービス提供へ向けた事業の推進

1 在宅福祉サービスの推進

- ・ 居宅介護支援事業 本所、宇和支所
- ・ 訪問介護事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 訪問入浴介護事業 宇和支所（西予市を全域カバー）
- ・ 障がい福祉サービス事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 第1号訪問事業 本所、宇和支所、城川支所
- ・ 第1号通所事業 本所、城川支所
- ・ 地域生活支援事業 宇和支所

上記の事業所体制により介護サービス事業及び障害福祉サービス事業を推進した。

- (1) 「業務執行会議」の中で、経営状況及び課題の改善等について協議を行った。

- (2) 各事業所管理者と常務理事・事務局長で構成する「管理者会」（介護予防・防止委員会を兼ねる）を開催し、「経営会議」の内容等の周知及び介護予防・防止についての協議を行った。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、また、有事の際の対応等を協議し整備を図った。
- (4) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業を活用し、事業所における環境整備に努めた。
- (5) 介護知識・技術等の向上のため、積極的に各種研修等に参加した。
- (6) 介護福祉士資格取得のための助成及び居宅介護支援専門員研修費の助成等を行い、職員の負担軽減を図るとともに、資質向上及び雇用の維持・確保に努めた。

## 2 法人後見事業の推進

### (1) 法人後見受任体制整備

法律関係者 2 人、医療・福祉関係者 1 人、学識経験者 1 人、行政関係者 1 人からなる「法人後見運営委員会」を設置

(2) 運営委員会の開催：0 回

(3) 受任委員会の開催：0 回

(4) 法人後見受任者：1 件（令和 2 年 3 月末現在）

(5) 訪問支援回数：10 回

## 3 福祉サービス利用援助事業の推進

愛媛県社会福祉協議会から福祉サービス利用援助事業を受託し、判断能力に不安のある方に対し、福祉サービスの適切な利用のため一連の援助を行った。

令和 3 年 3 月末日現在	利用者数	6 人
	生活支援員（含む登録）	4 人
令和 2 年度における相談件数	問い合わせ	3 件
	初回相談	1 件
	相談援助	6 件

【4】生活支援・福祉等総合相談事業の推進、ボランティア活動への支援及び福祉人材養成・確保に関する事業の実施

1 福祉等総合相談事業の推進

(1) 法律相談（弁護士）

本所・各支所にて開催（年 26 回開催 相談件数：98 件）

(2) 心配ごと相談（民生児童委員）

本所・各支所にて開催（年 59 回開催 相談件数：32 件）

(3) 登記相談（司法書士）

宇和支所にて開催（年 6 回開催 相談件数：19 件）

2 生活支援の推進

(1) 生活福祉資金貸付事業の推進（愛媛県社協からの受託事業）

本所・各支所にて貸付を推進した

年間相談件数：54 件（内、貸付件数：6 件）

(2) 小口資金貸付事業の推進

宇和支所にて生活困窮者に対し一時的な貸付を行った。（3 件）

(3) 特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金初回・延長・再貸付）

新型コロナウイルスの影響で収入の減少や失業等により、緊急かつ一時的な生計維持のため、貸付を必要とする世帯へ貸付（緊急小口資金特例貸付）を行う。なお、その後においても収入の減少や失業等により日常生活の維持が困難となっている世帯へは総合支援資金特例貸付・延長・再貸付を行った。

◇ 相談件数 475 件      明浜支所 45 件      宇和支所 125 件  
野村本所 191 件      城川支所 50 件  
三瓶支所 64 件

※相談先と借入者地区は異なります。

◇ 貸付件数 175 件

緊急小口資金貸付 94 件

総合支援資金初回貸付 56 件 ⇒ 延長貸付 20 件 ⇒ 再貸付 5 件

(4) 緊急食糧支援ネットワーク事業の推進（愛媛県社協からの受託事業）

生活困窮等により、食糧の確保が困難な者（世帯）に対して、緊急的に食糧の支給を実施 6 件（野村本所 3 件、宇和支所 2 件、三瓶支所 1 件）

(5) 安心カードみまもり支援事業の推進

西予市民生児童委員協議会の協力のもと、各地区において安心キットについての周知及び利用を推進した。

**【対象者等】**

- ・ 75歳以上の一人暮らし世帯
- ・ 75歳以上だけの世帯
- ・ 身体障害者等の手帳所持者
- ・ その他、地区民生児童委員協議会会長が適当と認める者

**【利用実績】（令和3年3月末現在）**

		明浜支所	宇和支所	城川支所	三瓶支所	本所	合計
独居世帯	利用世帯数	84世帯	357世帯	125世帯	191世帯	293世帯	1,050世帯
	利用者数	84人	357人	125人	191人	293人	1,050人
高齢者世帯	利用世帯数	24世帯	139世帯	37世帯	41世帯	108世帯	349世帯
	利用者数	48人	278人	75人	82人	216人	699人
障害者手帳所持者	利用世帯数	3世帯	14世帯	9世帯	4世帯	22世帯	52世帯
	利用者数	3人	14人	9人	4人	23人	53人
その他	利用世帯数	4世帯	35世帯	6世帯	13世帯	43世帯	101世帯
	利用者数	4人	35人	6人	16人	57人	118人
合計	利用世帯数	115世帯	545世帯	177世帯	249世帯	466世帯	1,552世帯
	利用者数	139人	684人	215人	293人	589人	1,920人

**3 ボランティア活動への支援等**

(1) ボランティア活動の推進

① ボランティア養成講座の開催

3講座、参加人数：計69人 修了者：計24人

② 夏休みボランティア体験の実施 2施設 5名参加

③ ボランティア活動保険の加入促進（1,985人加入）

**4 福祉人材養成・確保に関する事業の実施**

(1) 高齢者に関する介護知識・技術等の普及・啓発

福祉教育の推進（小学校3回、中学校1回）

(2) 「介護福祉士資格取得支援事業」「介護支援専門員更新研修費助成事業」の実施

**【5】介護用品販売事業**

明浜支所において介護用品（紙オムツ）の販売を行った。

- ・ 年間利用者数 18人 販売回数 91回

以下、本所及び各支所の事業報告項目

拠点区分	サービス区分	事業名	
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理事会の開催 (6回) ※ 内、2回は「決議の省略」</li> <li>○評議員会の開催 (5回) ※ 内、2回は「決議の省略」</li> <li>○監査会の開催 (1回)</li> <li>○監事による現地調査 (宇和・明浜・三瓶支所)</li> <li>○評議員選任・解任委員会 (1回)</li> <li>○役職員研修会の実施 (1回)</li> <li>○経営会議の開催 (6回)</li> <li>○業務執行会議の開催 (11回)</li> <li>○市内社会福祉法人等連絡会議 (3回)</li> <li>○規則及び諸規程の整備</li> <li>○法人業務の運営</li> <li>○本所・各支所間の連絡調整</li> <li>○事業継続計画 (BCP) の策定</li> <li>○経営改善計画の策定</li> <li>○職員研修委員会の開催</li> </ul>
	2. 支所法人運営事業	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全戸会員制会費の推進</li> <li>○車輛の維持・管理</li> <li>○県社会福祉大会への参加 (中止)</li> </ul>
	3. まごころ銀行運営事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まごころ銀行運営委員会の開催 (2回)</li> <li>○預託件数 (金銭預託: 1件 1件)</li> <li>○預託金額 1,000,000円</li> <li>○活用事業 (913,740円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・南予里親会への助成 30,000円</li> <li>・社協広報誌作成費等 440,575円</li> <li>・社協ホームページ運営費 96,614円</li> <li>・地域福祉活動計画策定関係 162,710円</li> <li>・福祉サービス利用援助事業 2,869円</li> <li>・法人後見事業 32,863円</li> <li>・運営委員等旅費 63,000円</li> <li>・お礼状等 (和紙・線香) 85,109円</li> </ul> </li> </ul>
		野村業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○預託件数 107件 (金銭預託: 106件、物品預託: 1件)</li> <li>○預託金額 4,580,268円</li> <li>○活用事業 (1,777,275円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者生活支援事業 1,203,636円</li> </ul> </li> </ul>

拠点区分	サービス区分	事業名	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護支援事業 190,098 円</li> <li>・給食サービス事業 383,541 円</li> </ul>
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	本所業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社協広報「おあしす」の発行（年5回）</li> <li>○社協ホームページ・フェイスブックの運用</li> <li>○地域福祉活動計画の策定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定委員会の開催 1回</li> <li>・住民座談会 2回</li> <li>・地域福祉活動計画の発行 1回</li> <li>・地域福祉活動計画概要版の発行・全戸配布 1回</li> </ul> </li> </ul>
		野村業務	○野村だよりの発行（年12回）
	5. 地区社協育成事業		
	6. 高齢者生活支援事業	本所業務	○「せいよ寄り添い生活支援事業」の研究
	7. 家族介護支援事業	野村業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○紙おむつ配布（社協独自）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回 延べ138人</li> </ul> </li> <li>○車いす貸与（短期間） 9件</li> </ul>



拠点区分	サービス区分	事業名	
	8. 給食サービス事業	野村業務	<p>○給食サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年12回 延べ配食数 2,675食</li> <li>・ボランティア人数</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症対策のため 手作りお弁当の調理を中止。内容をパン食 に変更し実施。</p>
	9. ボランティア活動 推進事業	野村業務	<p>○ボランティア研修会 1回 33人</p> <p>○ふれあい郵便</p> <p>月1回：対象者数（令和2年度当初） 221人</p> <p>○夏休みチャレンジ☆ボランティア 参加人数 5人</p> <p>○ボランティア保険加入促進 124人</p> <p>○災害ボランティア支援 0人</p>
	10. 生活支援体制整備 事業	本所業務	<p>○生活支援コーディネーターの設置（第1層）</p> <p>○協議体の設置・運営</p> <p style="padding-left: 20px;">（第1層） 1回</p> <p style="padding-left: 20px;">（第2層） 2回</p> <p>○ポイント制ボランティアの推進</p> <p style="padding-left: 20px;">登録者 112人</p> <p>○プレミアムポイントボランティアの推進</p> <p style="padding-left: 20px;">登録者 17人</p> <p>○介護予防サポーター養成講座の協力</p> <p>○介護予防サポーターステップアップ研修・ 連絡会の開催 5回（延べ82人参加）</p> <p>※コロナの感染拡大で1回中止</p> <p>○支え合い地域づくり研修会の開催 1回 （専門職対象 22人参加）</p> <p>○手づくりマスクボランティアの推進 646枚</p>
	11. 福祉等総合相談事業	野村業務	<p>○法律相談 年6回 相談件数 23件</p> <p>○心配ごと 年11回 相談件数 9件</p> <p>※7月の心配ごとは大雨警報発令の為のため中止</p>
	12. 福祉サービス利用 援助事業		

拠点区分	サービス区分	事業名																																																										
	13. 法人後見事業 14. 地域ささえあいセンター事業	本所 (野村・城川エリア)  ○支援対象世帯数(令和3年3月末現在) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>建設型仮設</td> <td style="text-align: right;">34世帯</td> </tr> <tr> <td>みなし仮設</td> <td style="text-align: right;">5世帯</td> </tr> <tr> <td>在宅</td> <td style="text-align: right;">13世帯</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">16世帯</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">68世帯</td> </tr> </table> ○支援件数(4月～3月) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>訪問</td> <td style="text-align: right;">2,766件</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td style="text-align: right;">40件</td> </tr> <tr> <td>来所</td> <td style="text-align: right;">14件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">163件</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,983件</td> </tr> </table> ○相談内容(4月～3月) ※複数回答 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>家族関係</td> <td style="text-align: right;">5件</td> </tr> <tr> <td>経済面</td> <td style="text-align: right;">4件</td> </tr> <tr> <td>居住関係(仮設)</td> <td style="text-align: right;">1件</td> </tr> <tr> <td>居住関係(再建)</td> <td style="text-align: right;">2件</td> </tr> <tr> <td>就労関係</td> <td style="text-align: right;">2件</td> </tr> <tr> <td>介護・福祉関係</td> <td style="text-align: right;">6件</td> </tr> <tr> <td>健康・医療関係</td> <td style="text-align: right;">17件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">13件</td> </tr> </table> ○他機関へのつなぎ件数(4月～3月) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">※複数回答</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td style="text-align: right;">2,162件</td> </tr> <tr> <td>社会福祉協議会</td> <td style="text-align: right;">120件</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センター</td> <td style="text-align: right;">37件</td> </tr> <tr> <td>介護事業所</td> <td style="text-align: right;">19件</td> </tr> <tr> <td>障害者支援事業所</td> <td style="text-align: right;">0件</td> </tr> <tr> <td>子ども・子育て支援機関</td> <td style="text-align: right;">0件</td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td style="text-align: right;">0件</td> </tr> <tr> <td>就労支援機関</td> <td style="text-align: right;">0件</td> </tr> <tr> <td>民生委員・児童委員</td> <td style="text-align: right;">0件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0件</td> </tr> </table>	建設型仮設	34世帯	みなし仮設	5世帯	在宅	13世帯	その他	16世帯	合計	68世帯	訪問	2,766件	電話	40件	来所	14件	その他	163件	合計	2,983件	家族関係	5件	経済面	4件	居住関係(仮設)	1件	居住関係(再建)	2件	就労関係	2件	介護・福祉関係	6件	健康・医療関係	17件	その他	13件	※複数回答		行政	2,162件	社会福祉協議会	120件	地域包括支援センター	37件	介護事業所	19件	障害者支援事業所	0件	子ども・子育て支援機関	0件	医療機関	0件	就労支援機関	0件	民生委員・児童委員	0件	その他	0件
建設型仮設	34世帯																																																											
みなし仮設	5世帯																																																											
在宅	13世帯																																																											
その他	16世帯																																																											
合計	68世帯																																																											
訪問	2,766件																																																											
電話	40件																																																											
来所	14件																																																											
その他	163件																																																											
合計	2,983件																																																											
家族関係	5件																																																											
経済面	4件																																																											
居住関係(仮設)	1件																																																											
居住関係(再建)	2件																																																											
就労関係	2件																																																											
介護・福祉関係	6件																																																											
健康・医療関係	17件																																																											
その他	13件																																																											
※複数回答																																																												
行政	2,162件																																																											
社会福祉協議会	120件																																																											
地域包括支援センター	37件																																																											
介護事業所	19件																																																											
障害者支援事業所	0件																																																											
子ども・子育て支援機関	0件																																																											
医療機関	0件																																																											
就労支援機関	0件																																																											
民生委員・児童委員	0件																																																											
その他	0件																																																											

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>○地域住民相互の交流促進を図るための取組等（4月～3月）</p> <p>サロン活動 13回： 99人  自治会活動支援 1回： 60人  仮設住宅と地域の交流 0回： 0人  研修・イベント等 1回： 8人</p>
	<p>15. 生活福祉資金貸付事業</p>	<p>本所業務</p> <p>○県社協、各支所、福祉事務所等との連絡調整</p> <p>◇ 新型コロナウイルス対応特例貸付</p> <p>○貸付件数</p> <p>緊急小口資金（特例） 94件①  <u>16,950,000円㉞</u></p> <p>総合支援資金（特例）</p> <p>初回貸付 56件②  30,150,000円㉟</p> <p>延長貸付 20件③  10,450,000円㊱</p> <p>再貸付 5件④  <u>3,000,000円㊲</u></p> <p>合計 ①+②+③+④ 175件  ㉞+㉟+㊱+㊲ 60,550,000円</p> <p>○相談件数</p> <p>明浜支所 45件  宇和支所 125件  城川支所 50件  野村本所 191件  三瓶支所 64件  合計 475件</p> <p>野村業務</p> <p>○貸付件数 2件  ○相談件数 21件</p>
	<p>16. 小口資金貸付事業</p>	<p>宇和業務</p>
<p>3. 共同募金配分事業</p>	<p>17. 一般募金配分金事業</p>	<p>本所業務</p> <p>○老人クラブ助成（市老ク連合会へ）  ○身体障害者協会活動助成（市身障協会へ）  ○手をつなぐ育成会助成（4地区）  ○福祉協力校助成（21校）  ○少年の日記念品贈呈事業  @1,000円×303人（内1名転校）  ○母子会活動助成（市母子寡婦福祉会へ）</p>

拠点区分	サービス区分	事業名	
			○民生児童委員協議会活動助成（市民協へ） ○更生保護女性会活動助成 （市更生保護女性会へ） ○ボランティア団体助成 13 団体 ○ボランティア連絡協議会助成 ○災害用機材整備事業
		野村業務	○給食サービスの集い 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ○お年寄りと子供の談話室助成 3 地区 ○ふれあいいいきサロン保険加入 ○わたしへのごほうび講座 1 回 10 人 ○イベントでのバルーン配布 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ○子供会活動助成 5 地区 ○見守りネットワークの推進 新型コロナウイルス感染症対策のため中止
	18. 歳末たすけあい配分事業	本所業務	○施設配分 特産品の送付 28 施設 （627 名） ○養護施設 義援金 32 人 支度金 6 人 ○療育センター 義援金 13 人
		野村業務	○餅配分 212 世帯 232 人 ○低所得世帯 1 世帯 1 人 ○作業所支援 1 件 ○惣川クリスマス会 新型コロナウイルス感染症対策のため中止
4. 居宅介護等事業	19. 居宅介護支援事業	野村業務	○令和3年3月末現在（186人） 介護予防支援受託（12人） ・要支援1 4人 ・要支援2 8人 第1号介護予防支援受託（2人） ・事業対象 2人 介護保険（172人） ・要介護1 64人 ・要介護2 57人 ・要介護3 25人 ・要介護4 16人 ・要介護5 10人

拠点区分	サービス区分	事業名	
	20. 訪問介護事業	本所業務	○介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12月) 37人 介護職員 後期一時金 (5月) 38人
		野村業務	○令和3年3月末現在 (24人) ・要介護1 12人 ・要介護2 6人 ・要介護3 3人 ・要介護4 3人 ・要介護5 0人
	21. 訪問入浴介護事業	本所業務	○介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12月) 12人 介護職員 後期一時金 (5月) 11人
	22. 障がい福祉サービス事業	本所業務	○福祉・介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12月) 28人 介護職員 後期一時金 (5月) 27人
		野村業務	○令和3年3月末現在 3人
	23. 第1号訪問事業	本所業務	○介護職員処遇改善加算 介護職員 前期一時金 (12月) 37人 介護職員 後期一時金 (5月) 38人
		野村業務	○令和3年3月末現在 (18人) ・要支援1 6人 ・要支援2 10人 ・事業対象 2人
	24. 第1号通所事業	野村業務	○令和3年3月末現在 58人
	25. 地域生活支援事業	野村業務	○令和3年3月末現在 0人
	5. 介護用品販売事業	26. 介護用品販売事業	

介護職員等の処遇改善については、処遇改善加算対象外の介護職員等についても処遇改善加算事業に準じて改善を図った。

○ 処遇改善加算対象外の状況

・訪問入浴介護	前期一時金 (12月)	3人
	後期一時金 (5月)	3人
・第1号通所	前期一時金 (12月)	4人
	後期一時金 (5月)	4人

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理 ○県社会福祉大会への参加 (中止)
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 6件 ○預託金額 123,025円 ○活用事業 (140,000円) ・高齢者生活支援事業 140,000円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○明浜支所だよりの発行 (年3回) ○明浜小地区座談会 4回
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいきいきサロン事業 ・高齢者サロン 7箇所 ・サロン研修会 参加者数人 15人 ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績 (3月末現在) ・利用世帯数 115世帯 ・利用者数 139人 (内訳) □独居世帯 (75歳以上) ・利用世帯数 84世帯 ・利用者数 84人 □高齢者世帯 (75歳以上) ・利用世帯数 24世帯 ・利用者数 48人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 3世帯 ・利用者数 3人 □その他 (必要と思われる方) ・利用世帯数 4世帯 ・利用者数 4人
	7. 家族介護支援事業	○車いす貸与 (短期間) 3件
	8. 給食サービス事業	○給食サービス 年12回 延べ1,255食

拠点区分	サービス区分	事業名
	9. ボランティア活動 推進事業	○ボランティア活動育成事業 ①個人 0人 ②団体 5団体 ・団体所属人員 73人（他の団体と重複5人） ③ボランティア保険加入者 68人 ④その他団体 2団体 ・その他団体所属人員 20人 ※ボランティア活動を主目的としていない団体 ○福祉協力校 2校 ○ボランティア活動保険加入促進 91人 ○ボランティア団体助成 3団体 ○福祉関係備品貸出 1件
	10. 生活支援体制整備 事業	○生活支援コーディネーターの設置（第2層）
	11. 福祉等総合相談事業	○法律相談 年3回 相談件数 5件 ※5月については、相談予約が無く中止 ○心配ごと相談 年7回 相談件数 5件 ※7月については、大雨警報が発令され、俵津公民館が避難所となったため中止。 ○相談員研修会 3月3日
	12. 福祉サービス利用 援助事業	
	13. 法人後見事業	
	14. 地域ささえあいセン ター事業	
	15. 生活福祉資金貸付 事業	○貸付件数 1件 ○相談件数 4件
	16. 小口資金貸付事業	
3. 共同募金配分事業	17. 一般募金配分金事業	○西予市民劇団「もんだかな」出前講座 小・中学生 114人 ○おはなし会（2回） 参加者 38人
	18. 歳末たすけあい配分 事業	○歳末たすけあい配分 ・昔のおもちゃで遊ぼう（幼児と高齢者の交流会） 高山保育園、俵津保育所 ・地域の集いの場促進（ベンチの設置） 田之浜地区

拠点区分	サービス区分	事業名		
4. 居宅介護等事業	19. 居宅介護支援事業			
	20. 訪問介護事業			
	21. 訪問入浴介護事業			
	22. 障がい福祉サービス事業			
	23. 第1号訪問事業			
	24. 第1号通所事業			
	25. 地域生活支援事業			
5. 介護用品販売事業	26. 介護用品販売事業	○紙おむつ販売	年間利用者数	18人
			販売回数	91回



拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理 ○県社会福祉大会への参加（中止）
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 41件 ○預託金額 1,590,772円 ○活用事業（2,724,276円） <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護事業（車両購入） 979,000円</li> <li>・高齢者生活支援事業 865,445円</li> <li>・給食サービス事業 879,831円</li> </ul>
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○宇和支所だよりの発行（年4回） ○地域福祉の将来像を考える住民座談会 1回 33人
	5. 地区社協育成事業	○地区社協育成助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・7地区社協（一般会費の約50%を助成）</li> </ul>
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいきいきサロン事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者サロン 36箇所</li> <li>・子育てサロン 1箇所</li> <li>・障害者サロン 1箇所</li> <li>・その他集いの場 2箇所</li> <li>・サロン交流研修会 ※コロナの影響により中止</li> </ul> ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績（3月末現在） <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 545世帯</li> <li>・利用者数 684人</li> </ul> （内訳） <ul style="list-style-type: none"> <li>□独居世帯（75歳以上）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 357世帯</li> <li>・利用者数 357人</li> </ul> </li> <li>□高齢者世帯（75歳以上）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 139世帯</li> <li>・利用者数 278人</li> </ul> </li> <li>□身体障害者等手帳所持者                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 14世帯</li> <li>・利用者数 14人</li> </ul> </li> <li>□その他（必要と思われる方）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数 35世帯</li> </ul> </li> </ul>

拠点区分	サービス区分	事業名
		・利用者数 35人
	7. 家族介護支援事業	○車いすの貸与（短期間） 10件
	8. 給食サービス事業	○給食サービス（7地区で実施） ・各地区年12回 配食数延べ 7,349食 ・給食（調理）ボランティア 91人 実働0人 ※コロナの影響で手作りは中止
	9. ボランティア活動 推進事業	○ボランティア登録数 ①個人 1人 ②団体 20団体 ・団体所属人員 257人 ③ボランティア保険加入者 399人 ④その他団体 3団体 ・その他団体所属人員 119人 ○ボランティア養成講座 ・朗読・読み聞かせ講座（全5回） 受講生11人 修了者数7人 ・朗読ボランティア現任研修会 年間3回開催（1回中止） 参加者数延べ44人 ・傾聴講座（全5回） 受講生20人 修了者数9人 ・こころの健康を学ぶ～精神保健編（全5回） 受講生38人 修了者数 8人 ○福祉ふれあい体験ボランティア ※中止 ○西予市ボランティア連絡協議会 総会・研修会 書類決裁 32団体 ○南予地域ボランティア交流会への協力 ※中止 ○福祉教育推進事業 ・福祉教室（手話） 1回（中川小学校 24人） ○福祉関係備品貸出 10件
	10. 生活支援体制整備事業	○生活支援コーディネーターの設置（第2層） ○ポイント制ボランティア登録者 44人 ○プレミアムポイント登録者 5人 ○介護予防サポーターステップアップ研修会 1回 口腔ケアについての講義・グループワーク 25名

拠点区分	サービス区分	事業名
	1 1. 福祉等総合相談事業	○法律相談所 年 6回 相談件数 30件 ○心配ごと相談所 年23回 相談件数 14件 ※4月(1回) コロナの影響により中止 ○登記相談 年 6回 相談件数 19件
	1 2. 福祉サービス利用 援助事業	○令和3年3月現在 利用者数 6人 直接支援 2人 相談件数 10件 (問合せ3件、初回相談1件、相談援助6件)
	1 3. 法人後見事業	令和3年3月現在 受任件数1件 ○訪問回数 10回 ○会議の開催 ・運営委員会 0回 ・受任審査会 0回
	1 4. 地域ささえあいセン ター事業 【宇和サテライトエリア】	○支援対象世帯数(令和3年3月末現在) 応急仮設 9世帯 みなし仮設 10世帯 在宅 31世帯 その他 8世帯 合計 58世帯 ○支援件数 訪問 585件 電話 9件 来所 1件 その他 144件 合計 739件 ○相談内容 ※複数回答 家族関係 5件 経済面 1件 居住関係(仮設) 0件 居住関係(再建) 2件 就労関係 0件 介護・福祉関係 6件 健康・医療関係 15件 その他 6件 合計 35件 ○他機関へのつなぎ件数 ※複数回答 行政 674件

令和2年度 事業報告項目

宇和支所

拠点区分	サービス区分	事業名
		<p>社会福祉協議会 7件                      地域包括支援センター 20件                      介護事業所 16件                      民生委員・児童委員 2件                      その他 0件                      合計 719件</p> <p>○地域住民相互の交流促進を図るための取組等                      サロン活動 1回： 2人</p> <p>○その他の活動状況                      カリタス引越支援 3世帯</p>
	15. 生活福祉資金貸付事業	<p>○貸付件数 3件                      ○相談件数 22件</p>
	16. 小口資金貸付事業	<p>○貸付件数 3件</p>
3. 共同募金配分事業	17. 一般募金配分金事業	<p>○高齢者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい暑中見舞い事業                          対象 80歳以上一人暮らし高齢者 400人</li> <li>・一人暮らし高齢者激励会(助成) 263人(6箇所)</li> <li>・地域の縁側事業 1箇所</li> </ul> <p>○障害児・者福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おイネ号」で旅をしよう! ※コロナの影響で中止</li> </ul> <p>○児童・青少年福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくステージ(大道芸パフォーマンス)                          参加者数 230人</li> <li>・青少年健全育成事業(地区社協へ助成) 7箇所</li> <li>・夏休みおたのしみ映画祭 ※コロナの影響で中止</li> </ul> <p>○子育て支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと一緒に♪ヨガ教室                          3回開催(コロナの影響で1回中止)                          参加者数延べ 34人</li> <li>・私へのごほうび講座 3回開催                          参加者数延べ 37人</li> </ul>
	18. 歳末たすけあい配分事業	<p>○宇和地区作業所等助成 2施設                      ○低所得世帯 20世帯・35人                      ○在宅介護者 52人                      ○交通災害遺児 0人                      ○在宅心身障害児 9人</p>

拠点区分	サービス区分	事業名
4. 居宅介護等事業	19. 居宅介護支援事業	○令和3年3月末現在(247人) 介護予防支援受託(13人) ・要支援1 5人 ・要支援2 8人 第1号総合事業受託(3人) ・事業対象 3人 介護保険(231人) ・要介護1 81人 ・要介護2 76人 ・要介護3 38人 ・要介護4 21人 ・要介護5 15人
	20. 訪問介護事業	○令和3年3月末現在(55人) ・要介護1 25人 ・要介護2 21人 ・要介護3 4人 ・要介護4 2人 ・要介護5 3人
	21. 訪問入浴介護事業	○令和3年3月末現在(18人) ・要介護1 0人 ・要介護2 1人 ・要介護3 1人 ・要介護4 6人 ・要介護5 10人
	22. 障がい福祉サービス事業	○令和3年3月末現在 13人
	23. 第1号訪問事業	○令和3年3月末現在(63人) ・要支援1 21人 ・要支援2 33人 ・事業対象 9人
	24. 第1号通所事業	
	25. 地域生活支援事業	○令和3年3月末現在 1人
5. 介護用品販売事業	26. 介護用品販売事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理 ○県社会福祉大会への参加（中止）
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 21件 ○預託金額 1,060,262円 ○活用事業（1,030,739円） ・高齢者生活支援事業 280,105円 ・給食サービス事業 750,634円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○城川支所だよりの発行（年4回）
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいいききサロン事業 ・高齢者サロン 11箇所 ・子育てサロン 0箇所 ・障害者サロン 0箇所 ・休止 0箇所 ・解散 0箇所 ・その他の集いの場 0箇所 ・サロン交流研修会 中止 ※新型コロナウイルス感染症の影響のため ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績（3月末現在） ・利用世帯数 177世帯 ・利用者数 215人 （内訳） □独居世帯（75歳以上） ・利用世帯数 125世帯 ・利用者数 125人 □高齢者世帯（75歳以上） ・利用世帯数 37世帯 ・利用者数 75人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 9世帯 ・利用者数 9人 □その他（必要と思われる方） ・利用世帯数 6世帯 ・利用者数 6人

拠点区分	サービス区分	事業名
		○第16回生きがいと健康づくりクロッケー大会 ・参加者：クロッケー愛好者 16チーム
	7. 家族介護支援事業	○車いす貸与（短期間） 3件
	8. 給食サービス事業	○給食サービス（毎月1回） ・実施回数 12回（パン食配布） ・延べ配食数 2,444食 ・ボランティア人数 4人 ※パン食仕分け 3人 配食 1人
	9. ボランティア活動 推進事業	○ボランティア ①個人 0人 ②団体 3団体 ・所属人数 108人 ③ボランティア活動保険加入者 ・ボランティア登録者 108人 ・一般住民 1,178人 ※ボランティア活動保険の請求 4件 ④その他の団体 2団体 ・所属人数 45人 ○夏休みチャレンジ☆ボランティア ・参加者 城川中学校 0人 野村高等学校 0人 ※城川小学校は、新型コロナウイルス感染症対策のため辞退 ・協力 西予市野城総合福祉協会 ※認定こども園しろかわ保育所は、新型コロナウイルス感染症対策のため辞退 ○福祉教室 ・内容：講座とグループワーク ・対象者：城川中学校 3年生 17人 教職員 4人 ○福祉体験教室 ・内容：講座と高齢者疑似体験 ・対象者：城川小学校 6年生 13人 教職員 1人 ○ボランティア研修会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、計画はしていたが急遽中止

令和2年度 事業報告項目

城川支所

拠点区分	サービス区分	事業名
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内 容：「ちょこちょこ体操教室」</li> <li>・対象者：ボランティア関係者 約30人</li> </ul>
	10. 生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活支援コーディネーターの設置（第2層）</li> <li>○ポイント制ボランティアの推進</li> <li>○介護予防サポーター養成講座（市と協働）</li> </ul>
	11. 福祉等総合相談事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法律相談 年5回 相談件数 16件 ※7月開催は、相談の予約が無く中止</li> <li>○心配ごと相談 年6回 相談件数 0件</li> </ul>
	12. 福祉サービス利用援助事業	
	13. 法人後見事業	
	14. 地域ささえあいセンター事業	
	15. 生活福祉資金貸付事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸付件数 0件</li> <li>○相談件数 3件</li> </ul>
	16. 小口資金貸付事業	
3. 共同募金配分事業	17. 一般募金配分金事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○紙おむつの配布                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 26人</li> <li>・配布月 5月・10月（年2回）</li> <li>※上段以外の月は、随時配布</li> </ul> </li> <li>○赤い羽根共同募金の周知啓発 城川地区の児童生徒に対し、赤い羽根共同募金のグリアファイルを活用した周知・啓発活動</li> </ul>
	18. 歳末たすけあい配分事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歳末たすけあい義援金の配布                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活世帯 42世帯</li> </ul> </li> </ul>
4. 居宅介護等事業	19. 居宅介護支援事業	
	20. 訪問介護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年3月末現在（20人）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護1 8人</li> <li>・要介護2 7人</li> <li>・要介護3 1人</li> <li>・要介護4 2人</li> <li>・要介護5 2人</li> </ul> </li> </ul>
	21. 訪問入浴介護事業	
	22. 障がい福祉サービス事業	○令和3年3月末現在 0人
	23. 第1号訪問事業	○令和3年3月末現在（22人）



令和2年度 事業報告項目

城川支所

拠点区分	サービス区分	事業名
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援1 7人</li> <li>・要支援2 13人</li> <li>・事業対象 2人</li> </ul>
	24. 第1号通所事業	○令和3年3月末現在 42人
	25. 地域生活支援事業	○令和3年3月末現在 0人
5. 介護用品販売事業	26. 介護用品販売事業	

拠点区分	サービス区分	事業名
1. 法人運営事業	1. 法人運営事業	
	2. 支所法人運営事業	○支所の運営事務 ○全戸会員制会費の推進 ○車輛の維持・管理 ○県社会福祉大会の参加（中止）
	3. まごころ銀行運営事業	○預託件数 9件 ○預託金額 628,812円 ○活用事業（200,000円） ・高齢者生活支援事業 200,000円
2. 地域福祉活動事業	4. 調査・企画・広報事業	○支所だよりの発行（年3回）
	5. 地区社協育成事業	
	6. 高齢者生活支援事業	○ふれあいいいききサロン事業（14サロン） ・高齢者サロン 12箇所 ・子育てサロン 2箇所 ・障害者サロン 0箇所 ・休止 1箇所 ・解散 0箇所 ・その他集いの場 3箇所 ・サロン交流研修会 コロナの影響により中止  ○安心カードみまもり支援事業 「安心キット」利用実績（3月末現在） ・利用世帯数 249世帯 ・利用者数 293人 （内訳） □独居世帯（75歳以上） ・利用世帯数 191世帯 ・利用者数 191人 □高齢者世帯（75歳以上） ・利用世帯数 41世帯 ・利用者数 82人 □身体障害者等手帳所持者 ・利用世帯数 4世帯 ・利用者数 4人

拠点区分	サービス区分	事業名
		<input type="checkbox"/> その他（必要と思われる方） ・利用世帯数 13世帯 ・利用者数 16人
	7. 家族介護支援事業	<input type="checkbox"/> 車いす貸与（短期間） 6件
	8. 給食サービス事業	<input type="checkbox"/> 独居世帯給食サービス（80歳以上） 年3回 延べ711食 <input type="checkbox"/> 高齢者世帯給食サービス（80歳以上） 年3回 延べ477食 <input type="checkbox"/> 独居世帯ヤクルト配布（80歳以上） 年2回 延べ475食 <input type="checkbox"/> 高齢者世帯ヤクルト（80歳以上） 年2回 延べ325食
	9. ボランティア活動 推進事業	<input type="checkbox"/> ボランティア登録数 ①個人：0人 ②団体：8団体 ・団体所属人数：141人 ③ボランティア活動保険加入者：85人 ④その他団体：1団体 ・その他団体所属人数：26人 <input type="checkbox"/> ふれあい年賀状 協力：三瓶中学校生徒 125人 対象：独居高齢者 250人 <input type="checkbox"/> ふれあいボランティア コロナの影響により中止 <input type="checkbox"/> 福祉関係備品貸出 2件
	10. 生活支援体制整備 事業	<input type="checkbox"/> 生活支援コーディネーターの設置（第2層） <input type="checkbox"/> ポイント制ボランティア登録者 8人 <input type="checkbox"/> プレミアムポイント登録者 4人 <input type="checkbox"/> 介護予防サポーターステップアップ研修会 日時：8月6日（木）13：30～ 場所：西予市役所三瓶支所2階 対象：介護予防サポーター養成講座終了者 参加者：8人
	11. 福祉等総合相談事業	<input type="checkbox"/> 法律相談所 年6回 相談件数 23件 <input type="checkbox"/> 心配ごと相談所 年12回 相談件数 4件
	12. 福祉サービス利用 援助事業	

令和2年度 事業報告項目

三瓶支所

拠点区分	サービス区分	事業名
	13. 法人後見事業	
	14. 地域ささえあいセンター事業	
	15. 生活福祉資金貸付事業	○貸付件数 0件 ○相談件数 4件
	16. 小口資金貸付事業	
3. 共同募金配分事業	17. 一般募金配分金事業	○点字教室 日時：11月6日(金) 10:45～(4年2組) 14:00～(4年1組) 場所：三瓶小学校各教室 対象：三瓶小学校4年生37人 ○手話教室 ※コロナの影響により中止
	18. 歳末たすけあい配分事業	○在宅対象者配分 43世帯 94人 ○独居・高齢世帯お餅配布 328世帯 ○特産品配布 1施設
4. 居宅介護等事業	19. 居宅介護支援事業	
	20. 訪問介護事業	
	21. 訪問入浴介護事業	
	22. 障がい福祉サービス事業	
	23. 第1号訪問事業	
	24. 第1号通所事業	
5. 介護用品販売事業	26. 介護用品販売事業	

# 令和2年度 西予市地域包括支援センター 事業報告

## I 西予市による西予市地域包括支援センター運営指針（抜粋）

### 1 地域包括ケアシステムの構築方針

西予市型共生社会の実現を目指した、地域包括ケアシステムの構築を推進する。

センター設置責任者である市とセンターは協力し合い、家族の絆と地域のぬくもりを大切にする西予（第7期高齢者福祉計画介護保険計画将来像）を目指し“地域づくり”と“人づくり”により、介護・医療・福祉だけでなく地域も連携してともに支え助け合う地域包括ケアシステムの構築に向けて、関係機関と連携しながら、切れ目ない支援体制の確立に取り組む。

また、高齢者・障がい者・子どもなど支援が必要な市民全てを対象とした、地域そのものを支援する福祉体制を展開し、西予市型共生社会の実現を目指す。

さらに、第7期計画に新設された高齢者の自立支援・介護状態の重度化防止に向けた取り組み及び介護給付適正化を一体的にとらえた施策の促進のための重点プログラムの推進に向けて市と協働して取り組む。

### 2 市とセンターの連携方針

市は、地域包括支援センター運営協議会を設置し、センターの公正・中立性の確保その他センターの円滑かつ適正な運営を図る。また、連絡会議を定期的を開催するとともに、情報交換及び課題共有等を行い、センター機能の強化を図る。

## II 基本方針

高齢者が住み慣れた地域で、継続して尊厳あるその人らしい生活を送れるように支援することを目標とする。そのために、地域の保健・医療・福祉サービスや各種社会資源等の地域包括ネットワークを構築し、できる限り要介護状態にならないように、包括的・継続的に支援する。

## III 長期目標

地域包括ケアシステムの推進に向けて保健・医療・福祉の連携と住民活動等インフォーマルな活動や地域資源を活用したネットワークの構築に努める。

## IV 短期目標

- ・ 元気な高齢者づくり及び重度化を防ぐための介護予防の実践
- ・ 地域ケア会議の確立に向けた体系整理の充実

## V 事業実施状況

### 1 包括的支援事業

**(1) 総合相談支援事業（法第115条の45第2項第1号）**

（目的） 高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築する。

高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。

**（実施内容）**

① 地域での高齢者状況の実態把握

早期対応の必要な高齢者を把握するために、民生児童委員より情報提供を受け、その情報をもとに該当者を取り巻く関係機関から情報収集を行い、訪問等で迅速に対応し、民生児童委員と情報共有を図った。

○各地区民生児童委員定例会や支部会等へ出席

○民生児童委員との連絡票を周知

地域で把握されにくい事例を連携しながら情報収集し早期対応を実施

② サロン等集いの場において健康相談対応と健康教室開催

○サロン8か所＋他団体2か所 143人 社協事業等の健康相談 2回 30人

地区	サロンでの健康相談・教室等	他機関の事業との共催	テーマ等備考
宇和	4か所 54人 2か所 46人 (サロン以外)	なし	認知症の講座 終活と介護予防についての講座等
明浜	1か所 12人	なし	認知症の講座
野村	3か所 31人	○社協事業 ・サロンリーダー交流会 ・介護予防サポーターステップアップ研修会 計 2回 30人	感染症（新型コロナ感染症、インフルエンザ）対策についての講座・熱中症予防の講座
城川	0か所	なし	※生活福祉課保健師等が主になって事業展開している（情報共有済）
三瓶	0か所	なし	

○高齢者の集いの後方支援

野村地区 ハツラツ会 毎月2回（第2・4火曜日）で支援

脳卒中家族の会「てるてる会」隔月（奇数月第3木曜日）開催支援

③ 初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援

警察署、消防署、行政機関、見守りネットワーク推進員、区長、介護予防サポーター、地区住民等からの情報や本人及び家族、または医療機関の地域医療連携

室、居宅支援事業所の介護支援専門員や福祉事業関係者からの相談や面談及び戸別訪問等の実施

○電話や来所により相談を受け付け、「連絡票」のツールを使い、情報共有を行っている。

ア 個別の相談件数（延件数）

相 談 内 容	件 数
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	810 (件)

イ 夜間・休日の電話対応件数（再掲ではない）

	件数
本 所	105 (件)
支 所	119 (件)
合 計	224 (件)

ウ 介護・福祉・認知症出張相談所開設による相談件数：実績 13 件

地区	件数	開催
明 浜	1	8 回/年
宇 和	8	毎月
野 村	3	毎月
城 川	0	奇数月
三 瓶	1	奇数月
合 計	13 (件)	

④ 地域における多様な社会資源（ネットワーク）と連携した支援の実施

ア 地域住民へ地域包括支援センター及び介護予防事業の啓発・PR

（PRの方法）◆民生児童委員協議会・老人クラブ・サロン・介護予防サポーター養成講座・見守りネットワークづくり研修会等において顔の見える関係づくり

◆市広報誌、社協便りで紹介

イ 福祉体験教室の開催

対象	内容	実施地区
小学生	高齢者疑似体験・ナッジ理論等	城川小学校

ウ 西日本豪雨災害後の復興支援に関すること

時期・回数	会議	内容
毎月開催	ささえあい連携会議	他機関との連携会議の実施

毎月開催	生活福祉課とささえあいセンターとのケース会議 個人ケースの検討(延べ289人)	野村仮設住宅在住者を中心に情報共有の必要なケースを優先して支援策の検討を実施。
------	--	---

- ⑤ 権利擁護事業とリンクした地域ケア会議の実施  
相談事例により権利擁護事業にて事例検討会を実施している。

## (2) 権利擁護事業 (法第115条の45第2項第2号)

《目的》地域の住民、民生児童委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を専門的・継続的な視点で行う。

### 《実施内容》

#### ① 高齢者虐待防止に関する広報及び相談支援

ア 虐待防止及び早期発見早期対応のためのネットワークの構築

チラシやリーフレット等を活用し、高齢者虐待対応の窓口及び相談支援機関であることや高齢者虐待防止に関する広報・啓発を実施している。

イ 民生児童委員の定例会等で、相談窓口であることを周知した。

ウ 本人の状態（心身・経済など）、家庭環境などにより関連機関や多職種連携での対応が必要な事例について、各専門機関と情報を共有した個別支援を実施。

#### ② 困難事例への対応（セルフネグレクトの防止及び対応）、成年後見制度の啓発と活用支援の強化

ア 虐待事例について行政と連携協働し、他機関と連携を図り対応実施

虐待対応件数 (延べ件数)	23 (件)
通報件数は15人。相談経路は、介護保険事業所（8件）が一番多く、次いで医療機関からであった。措置支援の該当者は無し。	

イ 相談のあった事例に対する必要に応じた関係機関との連携による支援

成年後見制度利用支援含む権利擁護相談件数	60 (件)
成年後見制度市長申し立て要請件数	3 (件)

ウ 成年後見制度普及啓発

宇和町：8月6日 郷内サロン 12人

明浜町：10月9日 渡江サロンわたり会 12人

社協便り・研修会にてパンフレット配布

#### ③ 消費者被害の防止

ア コロナ感染症の給付金詐欺防止の周知をチラシを作成して配布した。

イ 消費生活センターと連携を強化し、情報共有を行っている。



対応件数	(延べ件数)	4	(件)
------	--------	---	-----

- ④ 老人福祉施設等への措置の支援については行政と協同している。
- ⑤ 社会的弱者の支援体制の構築と事業関係者のスキルアップを目的とした地域ケア会議の実施

- ア 多職種による個別地域ケア会議を開催し情報共有・各機関との支援体制の構築に努めた。
- イ 身寄りのない人の支援シートを活用し、福祉課・長寿介護課等関係機関との連携強化とスムーズな連携体制が構築できた。
- ウ 法テラス弁護士による講座や困難事例に対する事例検討会及びホットラインの使用により助言を得た。
- エ 権利擁護関係者勉強会（事例検討会）を定期的で開催した。

開催：隔月

参加者：法テラス弁護士、行政・医療・保健・福祉・介護の関係者等  
(延べ60人参加)

開催月	テーマ（地域課題含む）	備考
4月	新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止	支援困難事例における連携についての指導助言を得る機会や関係機関協同の情報提供の場ともなっている。
6月	①闇金からの借金を繰り返す精神障害者とその子どもに対する支援 ②後見申立て者の選定・相続トラブルを回避するには	
8月	①身寄りがない人の死後事務処理等に関する事例について ②民法（相続法）が変更したことによる情報提供	
10月	①親権変更の申し立てについて ②生活保護受給者の成年後見制度利用について	
12月	新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止	
2月	法テラス愛媛よりケース会議支援制度について説明	

オ 権利擁護研修会の開催

開催日：令和2年11月12日

講演：『終活を学ぶ～これからの人生について考えてみませんか～』

講師：一般社団法人エンディングパートナー

参加者：地域住民、関係機関：58人

カ ○福祉施設等への講話を実施

講話『介護予防・終活について』 講師：社会福祉士

対象者：さわやか健康大学（宇和公民館事業）：23人

○西予市内介護支援専門員連絡会

講話『成年後見制度～市長申立て～』の講話 講師：社会福祉士

対象者：18人

- 一般住民への講話を実施 講師：保健師、主任介護支援専門員  
講話『介護予防・終活について』  
対象者：地域の住民主体の会（宇和地区）：46人

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（法第115条の45第2項第3号）

（目的） 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関、在宅と施設の連携等、地域における多職種相互の協働等による連携強化や体制づくりを行う。また、一人ひとりの高齢者の状況や変化に応じたケアマネジメントが重要であるため、自立した生活が維持するよう包括的かつ継続的な支援ができるよう、個々の介護支援専門員に対する支援等を行う。

#### （実施内容）

#### ① 包括的・継続的なケア体制の構築（ICTを活用した多職種連携体制の推進）

##### ア ICTクラウドシステム「kintone」事業の推進

事業概要：地域包括ケアシステム構築に向けてクラウドを活用し、多職種連携、顔の見える関係づくりを行うことができるシステム運用を目指す。  
ユーザー間での意見交換や各機関からの情報提供がリアルタイムに、スピーディーに行える。

イ ユーザー数：277ユーザー（3月末現在）※図①添付

#### ② 介護支援専門員の質向上とネットワークの構築・活用

ア 西予市主任介護支援専門員連絡会の開催（研修及び情報伝達を目的とし、第2層の地域ケア個別会議に位置付けている）：開催回数：5回

（6回/隔月予定していたが新型コロナ感染拡大の為5月のみ中止）

内容：地域包括ケアシステムの実践者として主に高齢者の健康作り「食」についての活動（地域ケア推進会議への提言を目的とするため）

##### ○特別研修会（講義と演習）の実施

講師：愛媛県立医療技術大学 名誉教授 宮内 清子氏

Part I 開催日：令和2年9月11日

演題：「地域の介護支援専門員のケアマネジメント力を高めるための支援」  
～予防と自立支援の視点からアセスメントを見直す～

Part II 開催日：令和2年11月13日

演題：「地域包括ケアシステムの実践者として私たちができること」  
～健康づくりの戦略「食べる」について考えよう～

講師：ご近所クリエイター 酒井 保氏

開催日：令和3年1月15日（オンラインによるWEB開催）

演題：「地域の支えあいのために生活支援体制整備事業について考える」  
～コロナ下で考える気かけ合う地域づくり～

日時	目標・内容等
7月10日	○西予市における主任介護支援専門員の立場や役割について講話（講師：包括内主任介護支援専門員・長寿介護課） ○事例検討における共通認識について協議
9月11日 (前記)	○特別研修会 part I 「地域の介護支援専門員のケアマネジメント力を高めるための支援」 ～予防と自立支援の視点からアセスメントを見直す～
11月13日 (前記)	○特別研修会 part II 「地域包括ケアシステムの実践者として私たちができること」 ～健康づくりの戦略「食べる」について考えよう～
1月15日 (前記)	○共生社会を意識した介護保険制度と給付の適正化について学ぶ ○地域の支え合いについて生活支援体制整備事業について考える オンラインによるWEB開催 「地域の支えあいのために生活支援体制整備事業について考える」 ～コロナ下で考える気かけ合う地域づくり～
3月12日	○権利擁護事業についての講話

イ 主任介護支援専門員地域リーダー養成研修の参加

内容：管内市町代表主任介護支援専門員グループでの演習と研究

テーマ：介護支援専門員の職業意識の向上について、管内の各地域でアンケート調査を実施し、地域のリーダーとしてのスキルアップと後方支援の方向性について学ぶ

ウ 西予市介護支援専門員連絡会の開催

開催回数（6回/隔月予定したが新型コロナ感染拡大防止の為、4月・6月・12月・2月は中止）

テーマ ①ケアマネジメント力の向上ができる

②医療についての知識の向上を行い、医療との連携を深化させる

介護支援専門員連絡会

日時	目標・内容等
8月11日	○医療介護連携事業について講話（講師：包括内保健師等事業担当） ○新型コロナ感染症時の支援についてアンケートの集計報告
10月12日	○家族支援や共生社会を意識したアセスメントについて事例を交えてのグループワークを実施（ファシリテーターは西予市主任介護支援専門員）
12月14日	○アセスメントの実際について学ぶ特別研修会（講師：松山市基幹型包括支援センター職員である愛媛県介護支援専門員協会会長）⇒感染症警戒期

	にて3年度へ延期した)
2月8日	○ゲートキーパー研修会（健康づくり推進課と協同）⇒感染症警戒期にて3年度へ延期

③ 主任介護支援専門員による介護支援専門員への日常的個別指導・相談

ア 個別指導及び支援困難事例等への指導・助言

制度等についての助言・指導	130 (件)
支援困難事例等への助言・協同	21 (件)

イ 長寿介護課と協同で、給付適正化事業としてケアプラン作成指導を通し、介護支援専門員への後方支援及びケアマネジメント指導

居宅介護支援事業所（15か所）	45 (件)
介護予防プランチェック（包括内部）	88 (件)

ウ 個別支援

委託サービス担当者会議への出席	178 (回)
委託プラン・評価の確認	308 (件)

エ 関係機関との連携づくり

○ 介護保険事業所連絡会 月1回（宇和・野村）/感染症縮小期のみ開催

area	連絡会開催 (回)	サービス利用実績 (回)
宇和地区	5	7
野村地区	5	7

○ 居宅支援事業所における事例検討会（法人間事例検討会含む）参加（1回）

オ 関係機関への医療・保健・介護・障がい等福祉分野の情報を集約した「高齢者サービスガイドブック」の作成

方法：キントーンにて全ユーザー（277人）へ情報提供

製本部数 300冊（製本の配布先：西予市医師会員・西予市民生児童委員・その他機関へ配布）

カ「西予市薬剤師の会」の勉強会は感染症対策にて実施されず参加に至っていない。

④ 個別地域ケア会議の開催推進と情報整理課題抽出

ア 自立支援を目的とした地域ケア個別会議の開催

開催日時：毎月第3木曜日 15：00～16：30

事例対象者：自立支援を目的とした総合事業対象者及び要支援認定者

構成員（助言者）：薬剤師 保健師 栄養士 歯科衛生士 看護師

リハビリテーション（POS）職（作業療法士、理学療法士）

事例により社会福祉士 等

実施件数：18例

令和2年10月から、居宅介護支援事業所の介護支援専門員も事例提供者として参加。高齢者のQOLの向上を目指し、参加者が自立に資するケアマネジメントの視点やサービス等の提供に関する知識・技術を習得。事例を積み重ねる事により、個別支援から見えてきた地域課題等を抽出整理。抽出された課題は作業部会（在宅医療・介護連携推進事業・認知症総合支援事業・一般介護予防・日常生活支援体制整備事業の各作業部会）で検討し、第1層地域ケア会議へ提言等を行っている。

イ 情報整理課題抽出（一部のみ抜粋）

① 認知症対策	①かかりつけ医と専門医の連携②MCI等独居高齢者の内服薬管理支援が難しい③精神科疾患との鑑別やBPSD悪化の家族介護支援が難しい
② 医療介護連携	①進行性疾患や難病の患者が在宅生活を送るために医療コーディネーター等の設置、連携が必要。状況によっては家族会などの紹介が望ましいが脳血管疾患や認知症の家族会以外は存在しない②高齢者世帯等に対しACPなどの啓蒙啓発が必要 ③糖尿病や脳血管疾患など生活習慣病の悪化、再発予防に向けて医療機関と連携し具体的な目標値の設定や病気の理解を深める事が必要
③ 生活支援体制整備	①通院の同行や診察への同席などの支援が受けられるサービスの発掘が必要である②ウォーキングサークルなど、趣味活動に参加できる社会資源の発掘や情報提供が必要
④ 一般介護予防	①高齢者の筋骨格系の障害等が介護保険申請の主原因となっている事例が多い②高齢者の健康意識の向上を目指す必要性が高い（対策）定期健診勧奨やバランスの良い食生活、レシピへの意識付けを行う。糖尿病など生活習慣病悪化予防のための定期健診やバランスの良い調理、栄養摂取への意識付けが重要③独居高齢者に対する見守りネットワークへの意識強化や体制の充実が望ましい④義歯や残歯の手入れを含め、日頃からの歯科受診や口腔衛生管理が望ましい
OJT（事例提供者への指導・助言等）	アセスメント力のスキルアップが必要である。 【対策】①高齢者の社会性についてアセスメントすることや個人が日常生活の中での楽しみや生活意欲向上を目指す事ができるよう、ツールとして興味関心チェックリストの活用を推進した。 ②栄養バランスを意識しつつ美味しく食事ができるよう、健康づくり推進課の協力のもと、ツールとして口腔栄養アセスメント表を作成し活用を推進した。

#### (4) 在宅医療・介護連携推進事業（法第115条の45第2項第4号）

《目的》 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進する。

##### 《実施内容》

##### ① 医療・介護サービス資源把握

地域資源のマップ、リストを作成し、医療機関や介護保険事業所等に配布する。

##### ② 医療・介護連携推進会議の開催

ア 第1層地域ケア推進会議「医療介護連携会議」の開催

第1回：令和2年10月28日（水）14:00～16:00

内容：事業（4つの場面）の進捗状況と展開

話題提供

八幡浜保健所より「新型コロナウイルス感染症の現状」

医療対策室より「地域包括ケアシステムの仕組みづくり」

第2回：令和3年2月17日（水）書面開催

内容：第1回会議後の経過報告…連携シート等に関するアンケート、「看取り」

作業部会、地域課題（第2層会議より）について

意見交換…各項目ごとに意見を収集、見解を加えまとめる

◎4つの場面のうちまず「看取りの支援」に関してシステムづくり等検討していくため作業部会を発足するための準備を行なった。

イ 両市立病院との連携会議

第1層地域ケア推進会議「医療介護連携会議」の作業部会の位置づけ

両市立病院にて年4回会議を開催→2回実施

市民病院：7月21日、10月20日

野村病院：8月7日、10月21日

野村病院とは、11月11日に「相談窓口としての役割確認」として臨時に検討会を開催

内容：2次救急集約に伴う在宅医療について（看取り期の救急搬送の受入れ）

◎2次救急集約に伴い、医療介護連携の不安材料はないか検討した。

ウ 有床医療機関との連携会議

井関医院：12月15日 三瓶病院：12月18日

内容：医療機関の現状、退院支援ルールや医療介護連携シートの活用状況、在宅診療、研修会や連携における課題について意見交換

エ 病院・診療所訪問

診療科に内科を標榜している病院・診療所に訪問依頼し、了承を得た16か所に診療の現状、連携、ACPに関することについて意見交換行なった。

③ 在宅医療・介護連携支援センター

ア 相談窓口

相談窓口としての役割を担っていること周知し、切れ目のないサービス体制の構築を推進。

病院・診療所、歯科診療所、調剤薬局を訪問し、チラシ「医療と介護の連携に係る相談窓口」を配布し、役割について説明を行なった。

イ 実習生受け入れ

愛媛大学医学部医学科学生実習：6人 10月14日

訪問看護養成基礎講習会：3人

11月5日（1人） 11月9日（2人）

3月8日～12日 在宅生活支援実習（愛媛大学医学部）は中止

（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にて）

④ 在宅医療・介護サービス情報共有支援

ア 退院支援ルールへの運用

○「八幡浜保健所管内における退院支援ルールの手引き」を継続して活用。スムーズに活用できているか注視し、必要時見直しを行なう。

○運用のためのツールとして、西予市が作成した「西予市医療・介護連携シート」を継続して活用。

イ 市立病院カンファレンス

週1回出席し、入院患者の退院支援及び転院や施設入所の支援、外来通院患者対応の連携。感染警戒期に応じて中止となるため、中止の際は電話にて確認を行なう。

市民病院：毎週火曜日 13:00～（休止中） 野村病院：毎週木曜日 12:30～

⑤ 在宅医療・介護関係者研修

ア 在宅医療・介護連携研修会を企画・開催

ACPに関する研修会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にて中止。

イ 研修会での講話

介護支援専門員連絡会：8月11日

「事業の説明、退院支援ルールと連携シートの活用について」

サロン等：11月26日多田だんだんプロジェクト、12月26日別所サロン

「終活等について」

ウ 研修会への参加

○四国がんセンター主催WEB開催

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」

概要と臨床での応用、ACPを中心に10月2日 ⇒参加2人

○野村病院川本医師主催WEB開催

「口腔ケアと誤嚥予防」11月24日 ⇒参加5人

「褥瘡予防」1月13日 ⇒参加10人

「高齢者糖尿病の特徴について」2月17日 ⇒参加14人

「コロナワクチン接種」3月17日 ⇒参加13人

⑥ 在宅医療・介護普及啓発

住民への普及啓発

「ACP（人生会議）のおはなし」を社協広報おあしす（1月20日発行）に掲載。

『輝けシニア！実りの祭典』にて講話「生きて逝く」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にて中止。

⑦ 地域ケア会議の開催

地域ケア個別会議に出席し、医療介護連携に関する課題抽出を行う。

抽出した課題は第1層医療介護連携会議にて協議を行う。

(5) 認知症総合支援事業（法第115条の45第2項第6号）

○ 認知症初期集中推進事業

《目的》認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームを配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

- ① 認知症初期集中支援チームの配置
- ② 訪問支援対象者の把握
- ③ 情報収集及び観察・評価
- ④ 初回訪問の支援
- ⑤ 初期集中支援の実施
- ⑥ 支援実施中の情報の共有

認知症相談件数	209 (件) ※総合相談件数の25.8%を占める
---------	---------------------------

- ・ 俗称「おれんじ支援チーム」としてチラシの作成やチームについてのPR
- ・ 西予市医師会の協力を得て、認知症サポート医6人体制（5町各地域の医療機関）
- ・ チーム数は1つ、包括内チーム員は4人体制  
（本所、支所ともに、看護師1人・社会福祉士1人ずつをチーム員とした）
- ・ チーム員研修参加予定であったが、感染症のため中止となった。
- ・ おれんじ支援チーム活動実績

チーム員会議	29 (件)
サポート医の訪問診療	1 (件)

- ・ 長寿介護課による認知症対策検討会（年2回開催）に参加し、報告会を行った。
- ・ おれんじ支援チーム作業部会設置により、支援チームの円滑な運用のため事例検討会を兼ね、認知症についての課題抽出や施策・事業の検討（毎月開催）



○ 認知症地域支援・ケア向上事業

〔目的〕 医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を推進する支援業務を行う認知症地域支援推進員を配置し、当該推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

① 認知症推進員の配置と推進員とチーム員の連携等専門者間の連携強化

認知症地域支援推進員（包括内）	4（人）
-----------------	------

認知症総合支援事業作業部会の参加（1回/2か月）  
 認知症ケアパス（あんしんノート）を住民へ周知  
 認知症ケアパスのダイジェスト版を普及

② 地域において認知症の人を支援する関係者の連携を図る取り組み

認知症カフェの開催

介護者や当事者同士がお茶を飲みながら相談や雑談のできる場となり、認知症等に関する情報提供を行う機会。また、介護予防サポーターの活動の場として展開していく。

おしゃべりカフェ	10（回）
----------	-------

③ 地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制の構築整備

介護・福祉・認知症相談日に設定し対応した。  
 認知症グループホームの運営推進会議への出席（GH4か所）  
 クラスタ発生時に応援職員の派遣（GH入居者介護支援）

④ 認知症に対する知識普及啓発

認知症サポーター養成講座の開催 回数：6回（154人）  
 【西予市立城川中学校3年生、西予市立城川小学校6年生、  
 民生児童委員協議会、介護予防サポーター養成講座修了生】

⑤ 権利擁護業務、総合相談支援業務とリンクした地域ケア会議の開催

2 介護予防日常生活支援総合事業

- ・自立支援のためのケアマネジメントの実践とサービスの適正な利用の推進を行う。
- ・本人の社会参加を視野に入れ、インフォーマルなサービスや地域の互助力による支援体制を組み込んだケアプランの作成
- ・包括的継続的ケアマネジメント業務とリンクし、社会資源の発見と地域課題の抽出を目的とした地域ケア会議の開催。

(1) 第1号介護予防支援事業(法第115条の45第1項第1号二)

《目的》基本チェックリスト該当者に対して、介護予防及び日常生活支援を目的としてその心身の状況、置かれている環境そのほかの状況に応じて、その選択に基づき、訪問型サービス（第1号訪問事業）、通所型サービス（第1号通所事業）、その他生活支援サービス（第1号生活支援事業）等適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう援助を行う。

① 事業対象者のケアマネジメント

- ・ 基準緩和A デイサービス利用者・・・実施件数：1,053件  
(基準緩和A デイサービス利用者のプラン作成はすべて包括が担当している)
- ・ 事業対象者（第1号介護予防支援対象者）・・・実施件数：3,408件  
総数のうち、包括担当の実施件数：2,491件（73.1%）  
総数のうち、委託事業所担当の実施件数：917件（26.9%）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
緩和A	請求件数	86	86	93	90	87	88	96	88	88	79	83	89
第1号介護 予防支援	包括担当件数	216	198	208	213	217	216	217	210	202	198	199	197
	委託担当件数	81	80	83	80	77	79	77	79	73	67	69	72
	合計	297	278	291	293	294	295	294	289	275	265	268	269
総数		383	364	384	383	381	383	390	377	363	344	351	358

【資料】事業対象者数の推移



## (2) 指定介護予防支援事業（法第 115 条 22）

《目的》介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用等を行うことができるよう、その心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成するとともに、当該介護予防サービス計画に基づく指定介護予防サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整を行う。  
業務の実施に当たっては、指定介護予防支援基準を遵守する。

### ① 要支援 1・2 の方へのケアマネジメント

・実施件数 4,828 件

総数のうち、包括担当の実施件数：3,052 件（63.2%）

総数のうち、委託事業所担当の実施件数：1,776 件（36.8%）

総数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指 定 介 護 予 防 支 援	包括担当件数	248	244	256	254	261	254	259	260	264	252	249	251
	委託担当件数	150	152	160	157	154	154	148	146	143	142	137	133
	総数	398	396	416	411	415	408	407	406	407	394	386	384

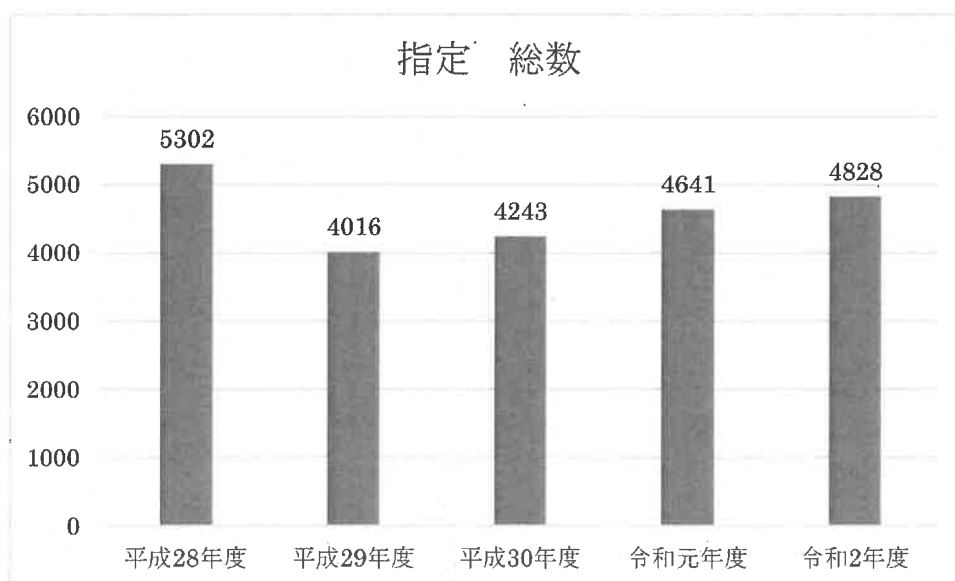
### ② 要介護認定者で福祉用具購入あるいは住宅改修を希望する人に対しケアマネジメントの実施（ケアプラン作成無し） 福祉用具 24 件 住宅改修 28 件

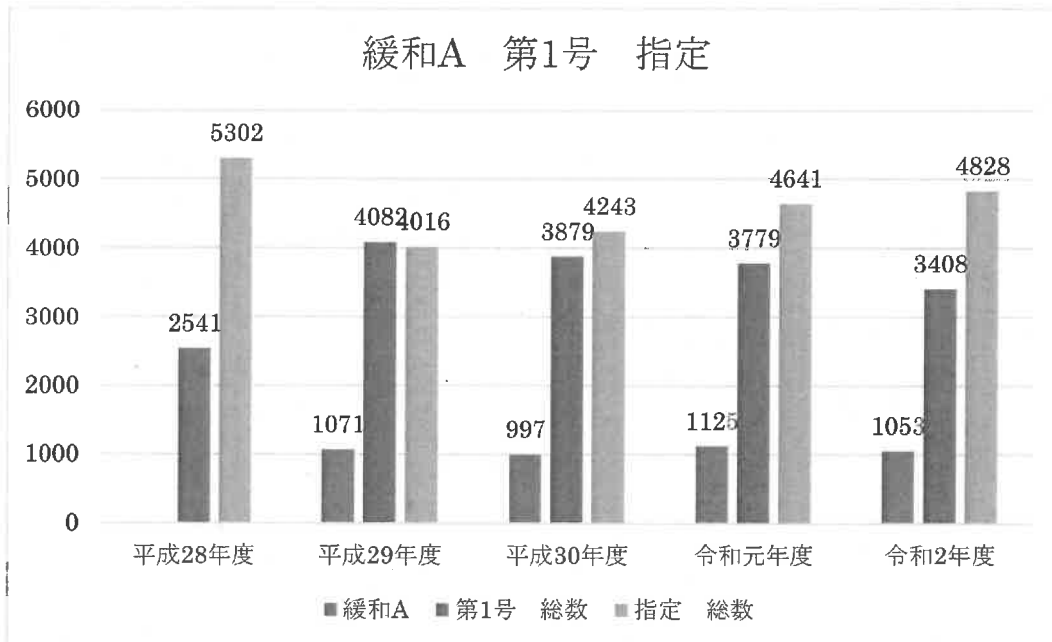
※令和 2 年度（令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月）実績

事業対象者支援数 4,461 件（うち、基準緩和デイ利用件数：1,053 件）

介護予防支援数 4,828 件

### 【資料】要支援サービス利用者数の推移





### 3 介護予防の推進

〔目的〕 高齢者ができるだけ要介護状態とならないための予防や、要支援状態の軽減、悪化防止の介護予防事業を積極的に取り組む。

#### 〔実施内容〕

#### ① 生活支援サービスの基盤整備事業

生活支援コーディネーターと共に医療・介護のサービス提供のみならず、地域住民、ボランティア、地区組織、シルバー人材センター、老人クラブ、商工会、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図った。

#### ア 「生活支援体制整備事業・一般介護予防事業作業部会」

- ・地域ケア推進会議（第1層）のカテゴリーの一つとして市主催で開催
- ・年4回程度開催し、共生社会を意識した地域づくりの課題を検討していく。  
（6月29日、9月14日、12月23日、3月15日の4回開催）

#### イ サービスの担い手など資源開発

介護予防サポーター養成講座の開催（市・社協と共同）  
10月8日～12月16日（6回）

#### ウ ネットワークの構築

- ・介護予防サポーターステップアップ研修（市・社協と共同）  
3月8日「コロナ禍の今こそ考えよう！地域のつながりづくり」 野村地区
- ・住民座談会（社協第1層・第2層コーディネーターが主催）へ参加  
2月9日 野村地区  
3月3日 宇和地区

エ 高齢者の日常生活におけるニーズと取組のマッチングは現在検討中である。

② 元気な高齢者づくり事業

- ・介護予防事業「輝けシニア！実りの祭典in宇和」
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にて中止 ⇒ 令和3年へ延期
- ・包括新聞の作成 年3回発行（初夏号・秋号・冬号）  
⇒フレイル予防を重視した。

【新型コロナ感染症拡大防止対策について】

- ①県の感染症フェーズに合わせて事業を実施した。
- ②市役所からの情報提供により指示通り実施した。
- ③会議等の休会により紙面上での承認を得た。
- ④積極的にオンラインの活用を推進し連携強化を図った。
- ⑤三密回避を意識し、個別支援を強化した。
- ⑥クラウドシステム「kintone」を使って情報交換を円滑に行った。
- ⑦BCPを作成し、有事に備えた（備品の整理含む）。

【図①】

西予市クラウドシステム（地域包括ケアシステム構築を推進する為のツール）



サービス提供事業所及び関係機関で情報を共有することにより多職種連携強化と在宅支援に資することを目的とし、令和3年3月現在277名の方がクラウドシステム運営協議会会員として活用しています（実施主体：西予市地域包括支援センター）